

お手入れのしかた

※必ず電源を切ってから行なってください。

- 表面の汚れは柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、
アルコールは
使用しないでください。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは 0120-963-006 048-992-2735	
電話 受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話 受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

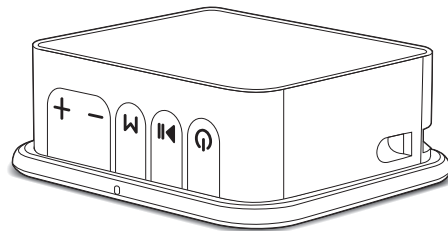
AudioComm®

取扱説明書

ワイヤレス充電・スピーカー

型番：ASP-W460N-W/K/P/A

品番：03-3189/3190/3191/3192



このたびは、AudioComm®ワイヤレス充電・スピーカーを
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

<目次>

免責事項	1	ペアリングのしかた	10～11
充電式電池について	1	オーディオコントロール	11
安全上のご注意	2～4	外部機器と有線接続する	12
防水保護等級について	4	故障かなと思ったら	13
Bluetooth無線技術について	5～6	主な仕様	14
各部の名称	7	お手入れのしかた	裏表紙
充電のしかた	8～9	保証書とアフターサービスについて	裏表紙
電源のオン/オフ	10		

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

充電式電池について

- 充電式電池(リチウムポリマー電池：ワイヤレススピーカーに内蔵)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。また、電池の交換はできません。
- 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。



危険

- 充電式電池(リチウムポリマー電池：ワイヤレススピーカーに内蔵)が液もれしたときは、素手で触らない
 - ・ 万一液もれているのを見つけたら、素手で触らず、弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
 - ・ 万一液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
 - ・ 液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。



警告

- 心臓ペースメーカーを使っているときは装着部位から22cm以上離す
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

- 万一、内部に異物や水などがいった場合は、すぐに使用を中止する
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 雷が鳴り始めたら、安全のため本製品（USBコードを含む）に触れない 感電するおそれがあります。
- 付属のUSBコード以外では充電しない 火災や感電、機器の故障の原因となります。
- 分解、修理、改造しない 火災や感電の原因となります。
- 航空機内や医療機器の近くで使わない 電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
- 火の中に入れない スピーカーにはリチウムポリマー電池が内蔵されており、誤って火中に入ると、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない
高温になると、危険を防止するためリチウムポリマー電池が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 本製品（USBコードを含む）の上に重いものをのせない 破損や故障により火災や感電の原因となります。
- USBコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
コードが傷ついて火災や感電の原因となります。
- ワイヤレスチャージャーの上にアルミなどのシールや金属製のものをのせない
発熱や発火のおそれがあります。

⚠ 注意

- 水をかけたり、浴室など湿度の高い場所に放置しない 故障の原因となります。
- 長時間、大音量で聴き続けたい 聴力障害などの原因となることがあります。
- 暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない 破損や故障の原因となります。
- 振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない
落下してけがをする可能性があります。また、破損や故障の原因となります。
- 本機をシンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない 変形や変色の原因となります。

⚠ 注意

- USBコードを熱器具に近づけない コードの被ふくが溶けて、火災や感電の原因となります。
- ほこりの多い場所に置かない 火災・感電の原因となることがあります。
- 自動制御機器（自動ドアや火災報知器など）の近くで使わない
電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
- USBコードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグ部を持って抜いてください。
- 日本国以外では使用しない
 - ・ 本機は日本国内専用です。
 - ・ 日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。
 - ・ 海外では国によって電波使用制限が異なるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。
- 本機を使用中に気分が悪くなったら、ただちに使用を中止する

防水保護等級について

本製品（ワイヤレススピーカー）はJIS C0920:2003(IEC 60529:2001)による水の浸入に対する保護等級「IPX6」（あらゆる角度からの噴流水に対して保護する）仕様となります。屋内・屋外の水のかかる場所でご使用いただけますが、以下の点に十分ご注意ください。

- 水中につけないでください（完全防水設計ではありません）。
- 端子カバーを確実に閉めてください。また、石けんの泡やオイルの付いた手で触らないでください（水分が浸入する可能性があります）。
- ドライヤーで乾かさないうでください（密閉部が変形する可能性があります）。
- 充電端子部が濡れたまま、充電しないでください（感電したり、ショートするおそれがあります）。
※水の浸入による故障につきましては、保証期間内でも有料修理となります。
※ワイヤレスチャージャー及びUSBコードは防水仕様ではありません。

Bluetooth 無線技術について

Bluetooth の特徴と本製品の対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBコードやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、近距離(最大約10m以内)であれば、どこにいても無線通信により音楽を楽しむことができます。

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本製品は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しており、ご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器(相手側機器)においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

※相手側機器が同じプロファイルに対応していても、本製品の性能・機能が制限される場合があります。

【対応バージョン】 Bluetooth標準規格 Ver.4.2

【対応プロファイル】 A2DP(高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル)

AVRCP(再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル)

※本製品はすべてのBluetooth機器との接続動作を保証したものではありません。

通信可能範囲について

Bluetoothの通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

セキュリティについて

本製品はBluetooth通信時のセキュリティとして、標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本製品の機器認定について

本製品は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本製品を分解・改造する行為、本製品に貼ってある定格銘板を消したりはがしたりする行為は、法律により罰せられることがあります。

※本製品は日本国内でのみ使用できます。

使用周波数と注意事項

本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

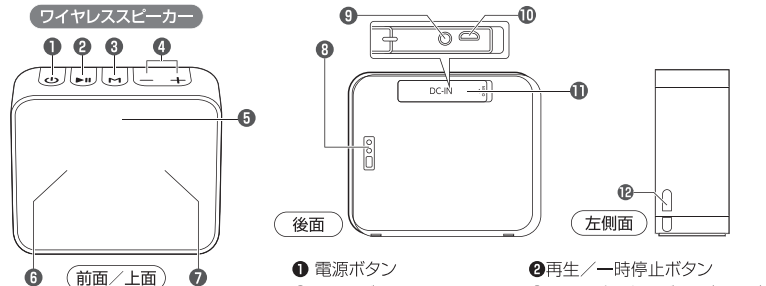
1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

医療機器の近くで使用する際は、特に注意してください

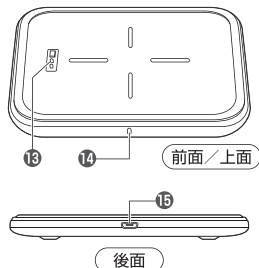
- 病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
- 医療機関内では次のことを守ってください。
 - ・ 手術室、集中治療室(ICU)、冠動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
 - ・ 病棟内では使わない。
 - ・ ロビーなどでも周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
 - ・ その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本製品を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本製品をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- 混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があります。ご使用の際は十分にご注意ください。

各部の名称

ワイヤレススピーカー

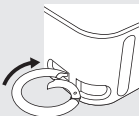


ワイヤレスチャージャー



ヒント

カラビナを取り付けるときは、通し穴部にカラビナの開閉部を押し付けて回してください。
※付属のカラビナは本製品専用です。破損するおそれがありますので、他の機器には使わないでください。

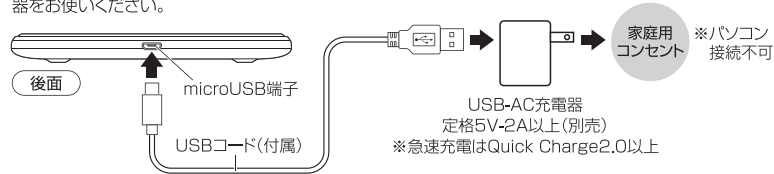


充電のしかた

ワイヤレスチャージャーを使った充電

付属のUSBコードを使い、定格5V-2A以上のUSB-AC充電器(別売)を介して、ワイヤレスチャージャーを家庭用コンセントに接続してください。

- 上記以外の充電器を使用したり、パソコンのUSB端子に接続した場合、充電が不安定になったり、充電できないことがあります。
- 急速充電は急速充電に対応した機器のみ可能です。その場合は、Quick Charge2.0以上のUSB-AC充電器をお使いください。



重要

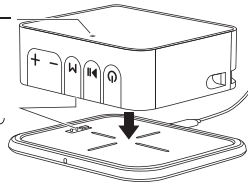
付属のUSBコードは本製品専用です。他のUSBコードを本製品の充電・給電に使わないでください。また付属のUSBコードは他の製品には使用しないでください。機器やデータの故障、破損につながる場合があります。

ワイヤレススピーカーを充電するときは

スピーカ充電端子どうしを合わせるようにして、ワイヤレススピーカーをワイヤレスチャージャーの上にのせます。充電が始まるとワイヤレススピーカーのインジケータが赤く点灯し、完了すると消灯します。
※端子カバーが浮いていると充電が始まらないことがありますので確実に閉めてください。

インジケータ

スピーカ充電端子どうしを合わせる



充電のしかた (つづき)

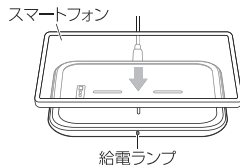
スマートフォンなどを充電するときは

ワイヤレスチャージャーの真ん中にスマートフォンなどをのせます。給電が始まるとワイヤレスチャージャーの給電ランプが点灯します。

- 給電ランプはスマートフォンなどを外すと消灯します(フル充電後も消灯しません)。
- 以下の場合には充電できないことがあります。ケースから取り出して充電してください。

- ・ 厚い衝撃吸収素材が使われているケースの場合 (Apple 社公表の対応ケース厚：3mm 以下)
- ・ 落下防止リング付のスマホケース
- ・ IC カードやクレジットカードがケースに入っている場合

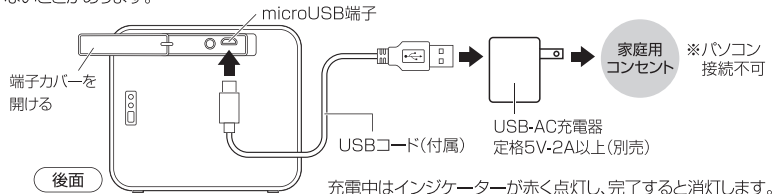
- 2 台以上の機器を同時に充電することはできません。
- Apple Watch は充電できません。



USBコードを使った充電(ワイヤレススピーカー)

付属のUSBコードを使い、定格5V・2A以上のUSB-AC充電器(別売)を介して、ワイヤレススピーカーのmicroUSB端子と家庭用コンセントを接続してください。

- それ以外の充電器を使用したり、パソコンのUSB端子に接続した場合、充電が不安定になったり、充電できないことがあります。



電源のオン/オフ



電源ボタンを長押しすると、電源のオン/オフができます。電源が入っているときは、インジケータが青く点灯します(サーチモード時は点滅)。

- 初めて使うときはペアリングが必要です。
- 電池残量が少なくなると、インジケータが赤く点滅し、しばらくすると電源が切れます。早めに充電してください。

ペアリングのしかた

はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。

ペアリングとは、本機(ワイヤレススピーカー)を相手側のBluetooth機器(相手側機器：スマートフォンやBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど)に初期登録する操作のことです。

1 本機の電源が切れていることを確認し、手元に本機と相手側機器を用意します(1m以内)。

- 障害物があるときは取り除き、相手側機器は電源が入った状態にしてください。

2 電源ボタンを長押しして、電源を入れます。

- メロディーと電子音が流れ、インジケータが青く点滅します。インジケータが青く点滅しているときは、サーチモード(Bluetooth機器を探している状態)であることを示します。
- サーチモードのまま約15分が経過すると、自動で電源が切れます。

3 相手側機器で本機を登録してください。

Bluetoothの登録画面を開く

本機を登録する

登録が完了すると

各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ進んでください。

相手側機器の登録画面で、本機の名称「ASP-W460N」が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

※携帯電話によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

電子音が流れ、インジケータ(青)が点滅から点灯に変わります。その後、相手側機器で再生などの操作を行ってください。

ペアリングのしかた (つづき)

ヒントとご注意

- 本機はBluetooth標準規格 Ver.4.2(プロファイル: A2DP, AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- 相手側機器が他の周辺機器とBluetooth接続を行なっているときは、本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との接続を解除したうえで本機とペアリングしてください。
- 最後に使用したペアリング済み相手側機器の電源が入っており、Bluetooth機能も有効なときは、本機の電源を入れると自動的に接続されます。
- ペアリング後、ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは、本機の電源を切り、しばらくしてから入れ直してみてください。また、相手側機器のBluetooth設定画面を開き、本機との接続を確認してください(接続中の状態にあるときは、いったん解除した後、もう一度接続してください)。それでも正常に戻らない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、改めてペアリングし直してください。

オーディオコントロール

Bluetoothで接続しているときの各ボタンの機能は、以下のとおりです。

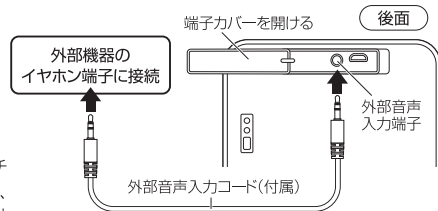


ヒント 音楽を聴いているときに着信があると、再生を中断します。通話を切ると再生を再開します。

外部機器と有線接続する

Bluetoothに対応していない外部機器(ポータブルCDプレーヤーなど)の場合は、外部音声入力コード(付属)を使って有線接続することにより、音楽を楽しむことができます。音声はミックスモノラル出力です。

- 1 双方の電源が切れた状態で本機と外部機器を接続します。
 - 右図を参照して正しく接続してください。
- 2 本機と外部機器の電源を入れ、外部機器側で再生などの操作をします。
 - スピーカーから音が出ないときは、マルチボタンを押してください。電子音が鳴り、ファンクションがBluetooth接続から外部音声入力に切り換わります。



ボタン	操作
再生／一時停止ボタン	消音⇄消音解除(短く押す)
スキップ／音量ボタン(+)	音量を上げる(長押し)
スキップ／音量ボタン(-)	音量を下げる(長押し)

本機で可能な操作例
※外部機器により異なります。

- 3 終了するときは外部機器側で停止操作を行なった後、本機の電源を切ります。
 - 接続を解除するときは、外部機器側の電源も切った後に行なってください。

ご注意

次にBluetooth接続に戻した際、それまで自動接続されていた機器とのペアリング設定が解除されることがあります。そのときは改めてペアリングし直してください。

故障かなと思ったら

- ワイヤレススピーカーの電源が入らない
 - ・十分に充電しましたか。
- ペアリングができない
 - ・本機(ワイヤレススピーカー)及び相手側機器の電源は入っていますか。
 - ・相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。
 - ・相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
- Bluetooth接続ができない
 - ・本機及び相手側機器の電源は入っていますか。
 - ・相手側機器が他の機器と通信していませんか。
 - ・相手側機器がスリープ状態になっていませんか。
 - ・相手側機器内で本機の登録が削除されていませんか。
- 音が出ない。ノイズやエコー音がする
 - ・ペアリングはしましたか。
 - ・本機または相手側機器の音量が最小または消音になっていませんか。
 - ・相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
 - ・無線通信を阻害する電磁波や無線LAN環境の近くで使用していませんか。
- 充電できない
 - ・USBコードやUSB-AC充電器(別売)などが正しく接続されていますか。
 - ・付属品ではないUSBコードを使っていませんか。

- 外部音声入力時に音が出ない
 - ・本機(ワイヤレススピーカー)と外部機器が正しく接続されていますか。
 - ・本機(ワイヤレススピーカー)または外部機器の音量が最小になっていませんか。
 - ・マルチボタンを押して出力音源を切り換えてみてください。
- ワイヤレスチャージャーを使った充電ができない
 - ・パソコンのUSB端子に接続していませんか(パソコンのUSB端子では充電できません。家庭用コンセントをお使いください)。

<ワイヤレススピーカー充電時>

 - ・スピーカー充電端子どうしの位置がずれていませんか。
 - ・端子カバーはしっかりと閉まっていますか。
 - ・ワイヤレスチャージャーとの間に異物が挟まっていますか。
 - ・スピーカー充電端子が汚れていませんか。

<スマートフォン充電時>

 - ・表裏反対に置いていませんか。
 - ・厚いケースに入っていたり、ケース内にカード類を入れたまま置いていませんか(ケースから取り出して充電してください)。

主な仕様

■ワイヤレススピーカー

電源	DC5V(microUSB)
内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池 (3.7V 1800mAh)
実用最大出力	6W
スピーカー	口径50mm(4Ω) パッシブラジエーター搭載
接続端子	電源：microUSB端子 スピーカー充電端子 外部音声入力：φ3.5mmステレオミニジャック
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.4.2
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
変調方式／周波数帯域	FHSS / 2.402～2.480GHz
最大通信距離	見通し 約10m(Class2)
充電時間	約3.5時間(残量ゼロからフル充電まで)
音楽再生可能時間	約26時間(60%音量)
許容動作温度／湿度	温度：0～40℃ 湿度：20～80%(結露なしにて)
防水性能	IPX6：耐水形(いかなる方向からの水の強い直接噴流によっても有害な影響を受けない)
外形寸法	幅100×高さ86.5×奥行33mm (突起物を除く)
質量	約225g

■ワイヤレスチャージャー

規格	Qi ver.1.2.4
入力	DC5V-2A、9V-1.7A(microUSB)
出力	5W／7.5W／9W／10W
接続端子	電源：microUSB端子 スピーカー充電端子
許容動作温度	0～35℃
外形寸法	幅114×高さ10.5×奥行100mm
質量	約80g

■付属品

専用USBコード(microUSB-USB)、
外部音声入力コード(φ3.5mmステレオミニプラグ)、
カラビナ、保証書、取扱説明書

※最大通信距離、充電時間、音楽再生可能時間は目安であり、使用状況によって異なります。また、充電時間は充電器の容量によって充電時間が長くなる(もしくは短くなる)場合があります。

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

※Qi及びQiマークはワイヤレスパワーコンソーシアム(WPC)の商標です。

※記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

※本書に使用している図版は、実際の製品と一部異なる場合があります。